決算審査認定にあたり各分科会で出された意見

決議審査特別委員会は、４つの分科会に決算議案を分担しています。４つの分科会で出た意見を一部紹介します。

総務分科会

●消防通信施設維持管理事業

高機能消防指令センター等の安定稼働と将来的な保守コストの適正化を図るとともに、大規模災害時に向けた各種システムの習熟と119番通報の適正利用に向けた啓発活動の持続可能な運用に引き続き取り組まれたい。

●シティセールス事業

引き続き明石の魅力を発信するとともに、転入超過の成果指標を複数設定して、交流人口や関係人口、移住・定住などが具体的な成果につながっているかを検証し、効果的な情報発信と事業展開に努められたい。

●人事管理事務事業

職員の人員配置については、幅広い経験を積ませることに加え、専門性を高めるため一定期間同一分野に配置するなど、職員の特性に応じた人材育成に努められたい。

●観光協会支援事業

SNSの動画を活用した観光情報の発信や近隣自治体や民間団体と連携した広域での観光振興を充実させるとともに、観光協会の組織強化に努められたい。

●明石駅周辺地区整備事業

プロジェクトの推進にあたり、議論や検討を重ね、より市民の利益に資する事業となるよう十分かつ適時適切な情報を議会や市民に報告されたい。

文教厚生分科会

●要配慮者支援事業

個別避難計画の作成にあたっては、単に計画を作成するだけでなく、災害時の安全な避難につなげることも重要であるため、一人一人の実情に応じて作成し、避難訓練等を繰り返し行うなど、実効性のある計画となるよう取り組まれたい。また、地域版ひなんサポーター研修や避難訓練などを繰り返し行い、顔の見える関係づくりや、実際の避難支援を想定した役割の確認等を進められたい。

●福祉施設人材育成事業

介護支援専門員の確保、育成、定着のための支援を引き続き行うため、国や他市の動向を注視し、必要な支援を多角的に検討して必要な予算の継続的な確保に努められたい。

●こども夢応援プロジェクト事業

支援対象の子どもたちが安心して進学できるよう個別面談に至るまでの伴走型支援や個別面談等を通じて本人の悩みや家庭環境を把握し、寄り添った支援を進めるとともに、高校進学後の3年間をしっかり学び卒業できるよう、切れ目のない支援を丁寧に進められたい。

●保育士確保等対策事業

待機児童ゼロの達成に向けては保育士の確保と処遇改善が重要なポイントであるため引き続き事業の充実に努められたい。

生活文化分科会

●商業振興対策事業

商店街若者・女性新規出店チャレンジ応援事業補助は、若者や女性の新規出店を後押しできる有意義な事業であることから、新規出店者のニーズ把握や制度の検証を行い、より多くの応募が集まるよう改善に努められたい。また、チャレンジ・スタートアップ事業者支援補助の利用者に対する起業後の伴走型支援や中小企業への経営指導を充実させ、まちの発展に不可欠である市内企業の活性化に尽力されたい。

●環境基本計画推進事業

ゼロ・カーボンあかしの実現に向け、次世代技術であるペロブスカイト太陽電池なども最大限に活用し温室効果ガス削減に向けて行政が率先して取り組む姿勢を示されたい。また、ネイチャーポジティブ宣言後の取り組みにより自然環境がどう変わったか、成果の見える化が重要なため明石にふさわしい成果指標の検討や市民が関心を持ち、実践できるような取り組みの発信に努められたい。

●インクルーシブ施策推進事業

合理的配慮の提供を支援する助成制度は、障害当事者にとっても事業者にとっても有益な制度であるため、新規事業者も含めたさらなる周知・啓発に取り組まれたい。

建設企業分科会

●危険なブロック塀対策

市民が身近なブロック塀の安全性を簡単に確認できるよう、分かりやすい点検項目を提示するとともに、危険なブロック塀を発見した際の相談場所についても、市民の認知度を向上させるため、広報等を含めたさらなる対策の強化に努められたい。

●プレーパーク事業

現在、子どもたちが安心して遊べる場所が少なくなっているが、プレーパークの体験は、子どもたちの生きる力や社会性を育む貴重な学びにつながるため、さらなる取り組みに努められたい。また、開催のたびに多くの参加があるが、この事業を支えているプレイリーダーを中心としたボランティアの熱意や善意に頼りすぎない運営体制にするとともに、担い手の育成や活動を支える体制について検証し、事業の充実に努められたい。

●管渠整備

他市の下水道管路の事故を受けて全国的に特別重点調査が実施され、本市においても危険箇所が判明しているが、緊急度の高いところから早急に改善するとともに、計画的な管渠の点検・調査を行い、道路陥没事故や浸水に備えた効果的な管渠整備に引き続き取り組まれたい。

魅力と活力あふれるまちづくりを

生活文化 常任委員長に聞く

【担当分野】
コミュニティや文化・スポーツ、環境、産業振興など、市民生活に身近な分野を審査します。



井藤　圭順（いとう　けいじゅん）

【議会歴】
在職２期。監査委員、文教厚生常任委員長などを歴任。55歳。

―重点的に取り組む事項

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し19歳以上の市民一人につき3千円分のプリペイド式ギフトカードを配布しました。また、歩きたばこによる被害を防止するため路上喫煙防止条例の制定を進めるとともに喫煙者と非喫煙者が共に暮らしやすい環境整備にも取り組みます。さらに、ゼロ・ウェイストあかしの一環として市指定ごみ袋への切り替えを進めていき、ごみの減量と資源循環の推進に向け市民の皆さまの理解と協力を得ながら持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

―委員長として一言

新ごみ処理施設整備や明石市公設地方卸売市場の老朽化対策、農水産業・商業の活性化等の課題に丁寧に取り組み魅力と活力あふれるまちづくりを進めてまいります。

将来にわたり安全・安心な暮らしのために

建設企業 常任委員長に聞く

【担当分野】
道路や河川、公園などの整備や都市計画、上下水道など、市民生活の基盤となる分野を審査します。



髙尾　秀彰（たかお　ひであき）

【議会歴】
在職１期。生活文化常任副委員長、議会運営委員などを歴任。44歳。

―重点的に取り組む事項

本常任委員会では、道路、公園、都市計画、上下水道など市民生活を支える都市基盤について審査しています。今年度は、老朽化が進む水道施設・管路への対応やPFAS対策など、将来にわたり安全・安心な水道サービスを維持するための取り組みをはじめ、公園を活用したプレーパークの推進、スマートインターチェンジの設置検討、幹線道路の整備、山陽電鉄藤江駅のバリアフリー化などが主なテーマです。いずれも日々の暮らしに直結する大切な課題です。

―委員長として一言

公平で円滑な委員会運営に努め、現場や市民の皆さまの声を大切にしながら、各委員と活発な議論を重ね、より安全で暮らしやすい明石のまちづくりにつなげてまいります。